

第2回国内クレジット推進協議会  
プロジェクト事例紹介

燃料転換プロジェクト  
(A重油 → 天然ガス)



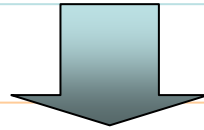
2008.8.26

東京ガス株式会社

# プロジェクト概要

## 既存設備

- A重油焚き蒸気ボイラ1.5t/h × 3基
- A重油焚き吸収冷温水機400RT × 2基

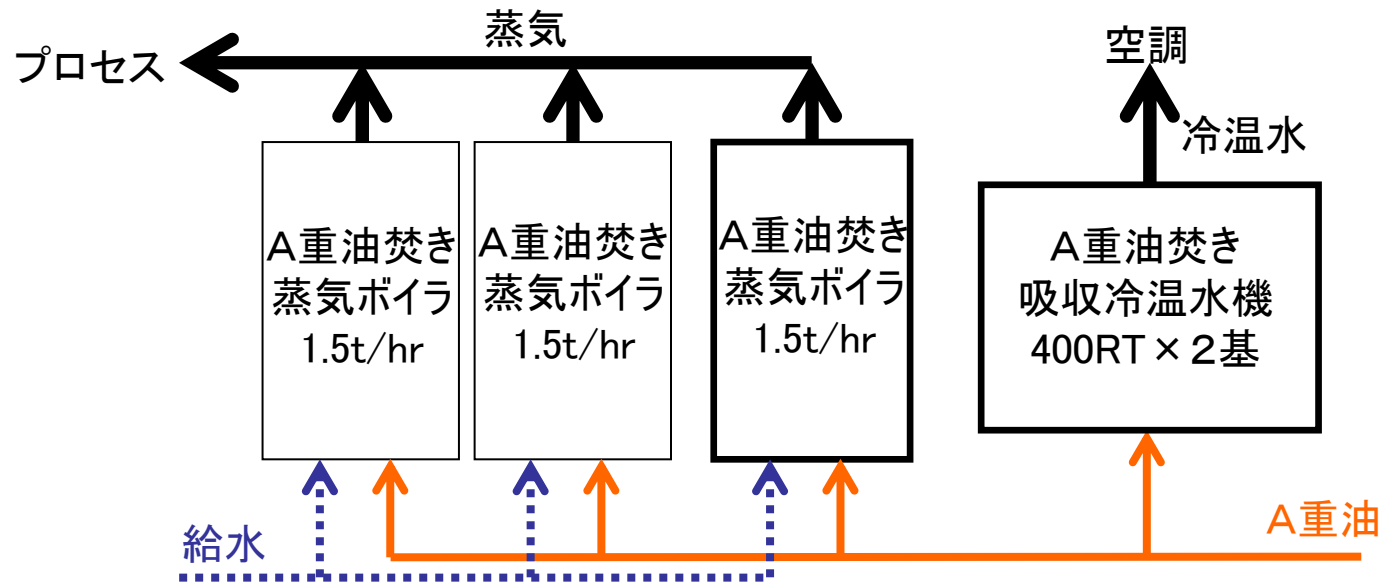


## プロジェクト内容

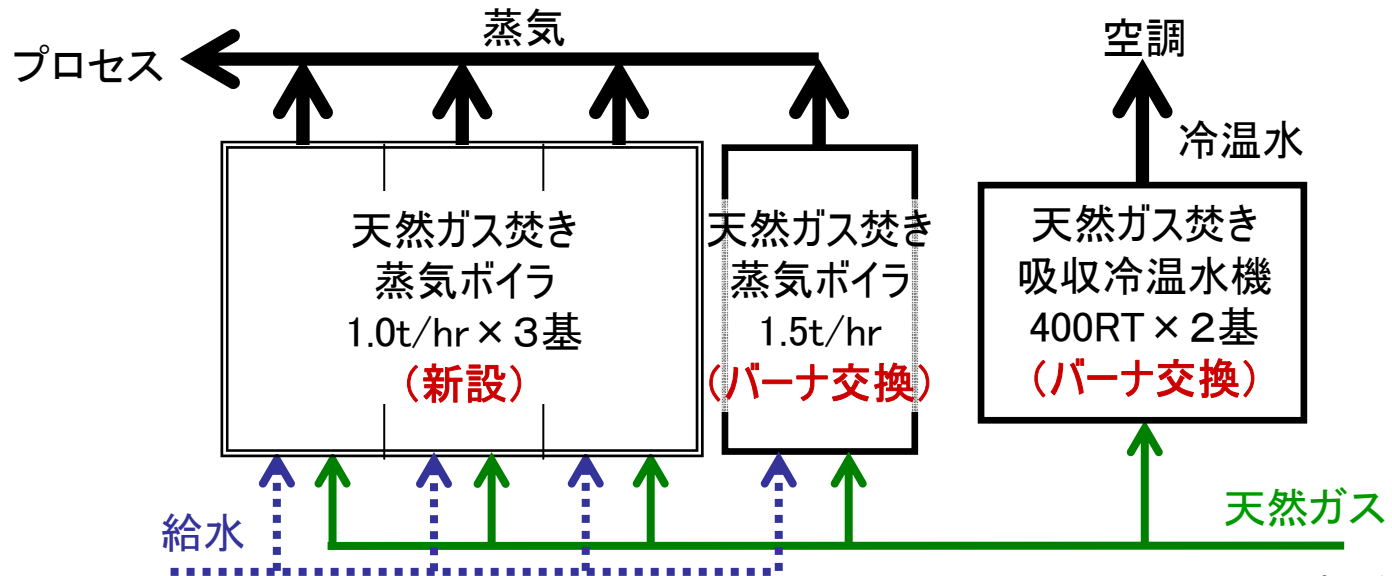
- A重油焚き蒸気ボイラ1.5t/h × 2基を撤去  
→ ガス焚き蒸気ボイラ1.0t/h × 3基を設置
- A重油焚き蒸気ボイラ1.5t/h × 1基  
A重油焚き吸収冷温水機400RT × 2基  
→ バーナ交換により天然ガス燃料に転換
- ボイラ設置場所を移動 → 蒸気配管経路を短縮
- 蒸気ボイラについては、台数制御方式を採用

# 設備概要

（ベースラインケース）  
プロジェクト実施前



プロジェクト実施後



# CO<sub>2</sub>削減量の推定方法(1)

## 1. ベースラインケースのA重油使用量の推定

- 最新設備の導入による熱効率の向上、ボイラの台数制御装置の設置等により、プロジェクト実施後のシステム効率は確実に向上
- しかし、プロジェクト実施前後のシステム効率の差を正確に計測するにはコスト的な問題があるため、システム効率は変わらないと仮定し、CO<sub>2</sub>削減量を簡便かつ堅めに見積もる
- すなわち、プロジェクト実施後のガス使用量の熱量換算値から、ベースラインケースのA重油使用量を推定

# CO<sub>2</sub>削減量の推定方法(2)

## 2. CO<sub>2</sub>削減量の算定式

ベースラインケース  
のCO<sub>2</sub>排出量

A重油使用量(推定値)  
× A重油のCO<sub>2</sub>排出係数

3,196トン

プロジェクト実施後の  
CO<sub>2</sub>排出量

ガス使用量(実測値)  
× ガスのCO<sub>2</sub>排出係数

2,477トン

=

CO<sub>2</sub>削減量

719トン